

2023年3月 診療カレンダー

住所：東京都中央区日本橋大伝馬町13-8
 メディカルプライム日本橋小伝馬町3階
 TEL:03-3639-3110 FAX:03-3639-3112

2023年4月 診療カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1

花粉症の方は
ご相談ください

卒業おめでとう

18時最終受付

ホームページ
院長ブログ公開中

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24	25	26	27	28	29

「今月の言葉」
 うしろを振り向く必要はない。
 あなたの前にはいくらでも道があるのだから
 ～ 魯迅(中国の小説家)～

一般診療	月	火	水	木	金	土	日
10:00-13:00	●	●	●	●	●	●	×
15:30-19:00	×	●	●	●	●	×	×

●9:00-12:30

お知らせ

- ・3/15(水) 午前休診
- ・3/18(土) 診療時間 9時～11時 ※10時45分最終
- ・3/27(月) 臨時休診

卒業式

冬の厳しい寒さも去り、早いところでは桜の便りも聞かれるようになりました。今年はスギ花粉の飛散量が例年より多く、花粉症に悩まれる方も多いようです。皆さま、体調はいかがでしょう？

さて3月といえば「卒業式」ですね。実は我が家では息子が高校3年生、娘が中学3年生なので二人とも卒業式を迎えます。どちらにも参列したいのですが、あいにく日程が重なっており、娘は中高一貫校であること、保護者1人までという制限のため、今回息子の卒業式に出席する予定です。妻は娘の卒業式を見届けたのち、大至急息子の卒業式へ駆けつけるそうです。そのようなわけで3月15日の午前中は休診とさせていただきますことになりました。ご迷惑をお掛けしますが、よろしくお祈りします。

私も幼稚園？・小学校・中学校・高校・大学・大学院といくつも卒業式を経験してきましたが、意外にも卒業式の細かなことはあまり記憶に残っていません。ただ大学の卒業式は式典でオーケストラとしてヴァイオリンで参加したことや、大学院の卒業式が終わった後に、妻と生まれたばかりの息子と3人で記念写真を撮ったことはよく覚えています。一方で親となって参列した子供たちの卒園式や卒業式はどれも強く印象に残っています。

息子の保育園の卒園式は2011年の3月で、ちょうど東日本大震災が起きた直後、日程が延期されて行われました。余震が続く不安な状況下、今は亡き義父が癌で闘病中のなか卒園式に来てくれて、胸がいっぱいになりました。息子は1月生まれで妻が4月から会社に復帰するにあたり生後3ヶ月でこの保育園へ預けました。慣らし保育の朝、息子を抱いて保育園の玄関に到着すると、保育士の方々に「まあ～まだ赤ちゃん！！」と声をかけられたこと、首もすわらない小さな赤ちゃんのうちから保育園に預けたときの切なさを思い出し、ネクタイ、スーツの成長した息子の姿に自分でもこんなに泣くことがあるんだろうかと思うくらい号泣でした。娘のときは卒園式のあとの謝恩会で園児のお父さんたちで出し物をやろうということになり、みんなで組体操をやりました。保育園のお父さんたちは育児に積極的な人が多く、日曜日に集会所に集まり、和気あいあい組体操の練習したことを今でも覚えています。(謝恩会では大いにウケました！)

息子の小学校の卒業式は、何といっても子供たちの歌声が心に残っています。在校生である5年生と卒業生の6年生の子供たちの揺れる体全体からの歌声に鳥肌がたつほど感動して涙が止まりませんでした。(わたし子どもの卒業式では泣いてばかりですね。)

娘の小学校の卒業式は3年前、コロナが発生した年です。2月の中学受験が終わってやれやれと思った直後の安倍首相による突然の休校宣言。友達とも会えない日々が続いた後の卒業式は開催できた喜びと感染症への漠然とした不安から何ともやりきれない気持ちになりました。卒業対策委員の保護者の方々께서せっかくなにか月もかけて準備してきた謝恩会もすべてキャンセルとなりました。

ところで私は小学生の頃は体が弱く病気でしばしば学校を欠席していました。中学生になるころにはほとんど休むことはなく、高校では皆勤賞でした。幸い息子も娘も体は丈夫なようで(息子が気胸で欠席しましたが)、学校を休むことなく毎日通学しました。

ただ、今の時代、雨が降ろうが槍が降ろう何が何でも通学することがすべてだとは思っていません。以前、娘が小さいころピアノのコンクールに参加したことがありました。そのときに一緒に参加していた男の子が、その後ギフテッドとしてテレビや新聞に取り上げられています。その梶田光さんは現在中学2年生で、小学校の間に英検1級を取得、ピアノ、作曲、ジャズなど即興の演奏もするようです。驚くのは数学の才能で、なんと小学1年生の時400ページを超える数学の専門書「Mathematics1001」(洋書)を3年かけて読破し、11歳で新しい定理を作り、今でも数学の研究を重ねていることです。

彼は小学校の時に不登校となりホームスクーリングという形をとって自宅で勉強をしていたこともあるようです。彼の場合はめったにいない天才なので一般的には参考にならないかもしれませんが、我々が子供のころであれば、すこし規格から外れた個性の持ち主は社会不適應の烙印を押されていたのではないのでしょうか？子供にはひとりひとり個性があり特性があります。これからの時代はそれぞれの個性を伸ばし、長所を活かす教育がますます広がってほしいなと思っています。

以前も書いたことがありますが、卒業式というのは子供自身の卒業でもあると同時に、親にとっても子育ての大切な区切りだと思っています。何はともあれ無事に卒業できることに感謝しております。この先にどんなことがあっても心身ともに健康で幸せでいて欲しいと願っています。